

研究名：リンパ管腫およびリンパ管腫症における症状発症時期による臨床的变化の検討

1．研究の目的

リンパ管腫、リンパ管腫症は整容性・機能性・出血や感染のリスクなどの観点から治療が必要になる疾患です。しかし、リンパ管腫、リンパ管腫症は胎児診断や出生時に診断される場合もある一方で、出生から数ヶ月～数年経過した後に症状が現れる場合があります。そのような発症時期に着目し検証した報告はあまりありません。リンパ管腫、リンパ管腫症の患者さんの発症時期によって、症状や治療効果や自然経過に違いあるかどうかを検証します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2010年4月1日～2021年10月31日までにリンパ管腫またはリンパ管腫症と診断された方

研究期間：倫理審査委員会承認後 ～ 2023年3月

研究方法：対象患者さんの症状発症時期から、胎児期診断出生時診断および出生後診断に分類し、治療前後の外観所見や画像検査から治療効果を判定し、臨床的特徴を治療効果を中心として検証します。

3．研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ、副作用等の発生状況、等

治療前後の画像検査（超音波、CT、MRI）を用いる。CT、MRIはDigital Imaging and Communication in Medicine(DICOM)画像を、OsiriX MDを用いて定量化します。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年3月31日まで下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 橋詰直樹

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：9855）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 橋詰直樹